

主要産地における令和6年産水稻の生育状況等について 第1報 (令和6年5月16日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部(令和6年5月16日)

道府県	区分	生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)	生育状況等	技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)	(参考)
		生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)	生育状況等	技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)	令和6年産の品種構成の概況
北海道				(全国) この春の間にエルニニョ現象が終息して平常の状態になる可能性が高い(90%)。その後、秋にかけて平常の状態が長く可能性もあるが(40%)、エルニニョ現象が発生する可能性の方がより高い(60%)。(気象庁 5月10日付)	
				【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁札幌管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)  北海道地方は5月19日頃からかなりの高温。 (札幌管区気象台)	・「なつぼし」及び「ゆめひかり」を中心とする品種構成となっている。 ・「青天の霹靂」「はれわたりが」が増加傾向となっている。  (農林水産省 令和6年3月12日)  (出典資料は以下同じ)
青森		(4月25日現在) ・水稻は種落ちよく状況は、黒全体で98%となった。黒全体のは種残りは4月23日で平年並となった。  (青森県 4月26日付)	(育苗)	【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  東北地方は5月19日頃からかなりの高温。 (仙台管区気象台)  向こう1か月もみ結露菌の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)	・「まっしぐら」を中心とする品種構成となっている。 ・「青天の霹靂」「はれわたりが」が増加傾向となっている。
岩手		(5月9日現在) 【田植えの進捗状況】(県内農業改良普及センターによる一斉調査) ・黒全体の田植え進捗率は10%。地帯別では、北上川上流2%、北上川下流14%、東部17%、北部0%。  ・耕起・代かき等の作業準備は順調に行われており、黒全体の田植えは5月11日頃から本格化し、概ね適期に作業が行われる見通し。  (移植) (岩手県 5月10日付)	(移植)	【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  東北地方は5月19日頃からかなりの高温。 (仙台管区気象台)  向こう1か月もみ結露菌の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。 ・黒のオリジナル品種である「釜川のしずく」が、耐病性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
宮城		(5月9日現在) 【田植え進捗状況】 ・黒全体の田植え進捗率は29.8%となっている。  ・なお、田植え始期は5月3日で、前年及び平年より1日早かった。4月が高湿傾向であったことから、苗の生育が早く、田植えも早まったとみられる。  (宮城県 5月9日付)	(移植)	【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  東北地方は5月19日頃からかなりの高温。 (仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
秋田		(4月25日現在) 【農作業の進捗】(各地域振興局農林部農業振興普及課調査) ・水稻播種作業の始期は4月11日(平年4月12日)、盛期は4月21日(平年4月22日)と、始期、盛期ともに1日早かった。  (4月25日現在) 【苗の生育】(気象調査試験における苗の生育状況) ・4月10日播種の中苗「あきたこまち」苗の生育は、平年を上回り、草丈は9.3cm(平年並+133%)、葉数は2.0葉(平年並+0.2葉)だった。 ・4月5日播種の中苗も同様に平年を上回って生育している。  ・4月2半前からの3半前までの気温が平年を上回って経過したことにより、この頃に播種した苗の生育や生育は順調である。しかしこの期間は日照も多く、被覆資材下の育苗箱内温度が上昇しやすかったことから高温障害による発芽不良が心配された。  (秋田県 4月30日付)	(育苗)	【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  東北地方は5月19日頃からかなりの高温。 (仙台管区気象台)  向こう1か月もみ結露菌の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
山形				【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  東北地方は5月19日頃からかなりの高温。 (仙台管区気象台)	・「はてめぼし」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。 ・近産品種「響き丸」は増加傾向にある。
福島		(5月9日現在) ・稲播種始期の播種作業は、始期(5%終了)が4月7日(平年並-1日)、盛期(50%終了)が4月15日(平年並-1日)、終期(95%終了)が4月26日(平年並+1日)となった。  ・生育は概ね順調だが、一部に、発芽の不揃いや病害の発生、苗焼け、徒長苗が見られる。  (育苗) (福島県 5月10日付)	(育苗)	【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)  東北地方は5月19日頃からかなりの高温。 (仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近産品種「響き丸」が定着している。
茨城				【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)  【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)  関東甲信地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で近産、多様な多収米への作付け移行が進んでいる。
栃木				【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)  【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)  関東甲信地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。

(生育状況等)			
千葉		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」「ふさごがね」及び「みずかみ」を中心とする品種構成となっている。令和2年度から新品種「和すけ」の本格栽培が開始</li> </ul>
新潟		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきんずり」「つぎあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」（晩生種）の作付拡大を推奨している。</li> </ul>
富山		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温急熱でも品質が安定している「てんたかく」及び「てんこもり」県のトップブランドに位置づけられている「富高富」が増加傾向にある。</li> </ul>
石川		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ゆめつばき」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「トッキョウマン」が増加傾向にある。</li> </ul>
福井		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ハナチヤセン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「もちほまれ」が増加傾向にある。</li> </ul>
長野		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風さやか」の導入を推奨している。</li> </ul>
滋賀		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で、ほぼ平年並。太平洋側で平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>近畿地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月結露性病害の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温急熱性に優れた「みずがみ」の作付けが推奨されている。</li> </ul>
兵庫		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で、ほぼ平年並。太平洋側で平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>近畿地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月結露性病害の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「きぬむすめ」「コシヒカリ」及び「あきたこまち」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推奨している。</li> </ul>
岡山		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並。日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、山陰でほぼ平年並、山陽で平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</li> </ul>
広島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並。日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、山陰でほぼ平年並、山陽で平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は5月19日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」、「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</li> </ul>

(生育状況等)			
愛 媛	<p>【水稲 いもち病（育苗～本田初期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、育苗期や移植後の早期水稲での発生は確認していない。</li> </ul> <p>(愛媛県 4月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多く、日照時間は平年並み少ない見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は5月19日頃からかなりの高温。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめの雫」への品種変更が定着してきている。</li> </ul>
高 知	<p>(4月)</p> <p>【水稲（早期稲）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例年に比べ4月の日照時間が少なく、トリコデルマによる苗立枯病やビシウムによるムレ苗、いもちの発生が見られたほか、一部地域でガス害による葉枯れが確認されている。</li> </ul> <p>移植は3月第5半旬より始まり、移植盛期は中西部で4月第4半旬、その他の地域では4月第2～3半旬でほぼ平年並であった。</p> <p>(移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スクミンコガイの越冬量は暖冬の影響により多かったと考えられるが、現在のところ大きな被害は確認されていない。</li> <li>4月第2半旬の強風の影響が懸念されたが、現在の生育は概ね順調である。</li> </ul> <p>(高知県病害虫防除所 5月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多く、日照時間は平年並み少ない見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】</p> <p>九州地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は5月19日頃からかなりの高温。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</li> </ul>
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>田植は4月11日頃から始まり、4月下旬が最盛期で、5月上旬頃まで行われる予定。</li> <li>苗は、病害も見られず生育良好。</li> </ul> <p>(福岡県農林業総合試験場 4月18日付)</p> <p>(移植)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多く、日照時間は平年並み少ない見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】</p> <p>九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。降水量は平年並み多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は5月19日頃からかなりの高温。(福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気づくし」を中心とする品種構成であるが、「元気づくし」が増加傾向となっている。「夢つくし」の拡大を推奨している。</li> </ul>
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多く、日照時間は平年並み少ない見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】</p> <p>九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。降水量は平年並み多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は5月19日頃からかなりの高温。(福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。</li> </ul>
宮 崎	<p>(4月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早期水稲は活着期。</li> </ul> <p>(生育)</p> <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 4月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多く、日照時間は平年並み少ない見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は5月19日頃からかなりの高温。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みか359」への作付誘導が進められている。</li> </ul>
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月18日～6月17日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多く、日照時間は平年並み少ない見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 5月～7月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は5月19日頃からかなりの高温。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、改良米率の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</li> </ul>

注1：鹿児島地方気象台、出来揃期等がホームページで公表している資料を基に情報提供部で取り纏め。  
注2：生育状況等（栽培法等公表資料の抜粋）については令和6年5月16日 15時時点での取り纏め。

引用資料:

4月25日現在水稲は種進捗状況(青森県 4月26日)、  
田植えの進捗状況(5月9日現在概況速報)について(岩手県 5月10日)、  
令和6年産水稲の田植状況について(5月8日現在)(宮城県 5月9日)、  
作況ニュース(第1号)(秋田県 4月30日)、  
主要な農作物の生育情報令和6年度第2号(令和6年5月9日現在)(福島県 5月10日)、  
病害虫発生予報(5月)(愛媛県 4月30日)、  
病害虫発生予察情報について令和6年度病害虫発生予察4月月報(高知県病害虫防除所 5月8日)、  
主な農産物の生産状況(令和6年4月16日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 4月18日)、  
令和6年度病害虫発生予報第1号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 4月26日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(5月16日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(5月16日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(5月16日気象庁)、  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(5月16日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(5月16日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(5月16日広島地方気象台)、  
四国地方こう1か月の天候の見通し(5月16日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(5月16日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(5月16日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(4月23日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(4月23日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(4月23日気象庁)、  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(4月23日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(4月23日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(4月23日広島地方気象台)、  
四国地方こう3か月の天候の見通し(4月23日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(4月23日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(4月23日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(5月13日14時30分 気象庁)、  
エルニーニョ監視速報(No.380)(気象庁 5月10日)、

令和6年度病害虫発生予報第2号(農林水産省 5月15日)、  
令和6年産水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月12日)